

阿波市全庁評価シート 令和6年度実施事業対象

PLAN	No.	9	1	基本事務事業名	出産祝金支給事業	事務事業名	出産祝金支給事業	公的関与	9	シート作成日	令和7年6月5日			
	部局名	市民部		課名	市民課		主務課長名	森友 晴美		シート作成者名	森田 茉衣花			
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		1. やさしく健やかな阿波		実施計画		事業の開始・終了						
		基本計画(施策)		(2)子育て支援の充実		<input checked="" type="radio"/> 1 該当		令和	年	～	令和	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし	
	主要施策		(1)多様な子育て支援施策の推進		<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		阿波市出産祝金支給に関する条例					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	出産祝金支給対象者(出産の日において、申請者(父又は母)と新生児が阿波市に居住し、出産後も新生児とともに引き続き6箇月以上阿波市に居住する者)											
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	出産を祝福し、新生児の健やかな成長を願うとともに、本市の活性化に繋げることを目的とします。										
			今年度	制度周知に努め、子育て支援充実の一助となる支援として、長期的に継続していきます。										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 出生届時及び定期的な住民基本台帳照会により支給対象者を把握し、申請により祝金を支給します。													
	② 長期・継続的な視点での子育て支援・定住支援等に取り組んでいきます。													
	③ 祝金制度を広報、HP、SNS等により周知徹底に努めます。													
	④													
	⑤													
数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標				
	支給件数		目標設定になじまないため実績のみ記載			目標								
							実績	110	116					
						目標								
							実績							
						目標								
実績														
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	1	社会福祉総務費
			令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度予算	備考								
	直接事業費	国庫支出金		千円	千円	千円								
		県支出金		千円	千円	千円								
		地方債		千円	千円	千円								
		その他特定財源		千円	千円	千円								
		一般財源		3,300 千円	3,480 千円	3,870 千円								
		計(A)		3,300 千円	3,480 千円	3,870 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.063 人	382 千円	0.063 人	375 千円	0.063 人	388 千円						
		会計年度任用職員職種												
会計年度任用職員工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円							
全体事業費(A+B)			3,682 千円	3,855 千円	4,258 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
		1.	2.	3.	4.	総合	○ 少ない	● 大きい	出産祝金の市民ニーズは高いものがあります。また子育て世代対象のアンケートにより、長期的な子育て支援の充実を希望する声が多かったため、令和2年度から要件の緩和と支給金額を改正しています。	○ 少ない	● 大きい		
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ ない	● ある			○ 少ない	● 大きい	出産祝金の市民ニーズは高いものがあります。また子育て世代対象のアンケートにより、長期的な子育て支援の充実を希望する声が多かったため、令和2年度から要件の緩和と支給金額を改正しています。	○ 少ない	● 大きい		
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ある	● ない			○ ない	● ある		○ ない	● ある		
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ いる	● いない			○ ある	● ない		○ ある	● ない		
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いえない	● いえる			○ いる	● いない		○ いる	● いない		
CHECK	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	● いえる			○ いえない	● いえる	出産費用が高額になるなか、経済的に子育てを支援する手段として有効です。	○ いえない	● いえる		
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ する	● しない			○ いえない	● いえる		○ いえない	● いえる		
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ できない	● できる			○ する	● しない		○ する	● しない		
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ 目標に比べて劣っている	● 十分達成している			○ できない	● できる		○ 目標に比べて劣っている	● 十分達成している		
CHECK	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている	● 十分達成している			該当者からは、喜ばれています。令和2年度からは、市民ニーズに応え、支給要件の緩和や支給金額の改正を実施しました。他の子育て支援事業と合わせて、今後も引き続き支援を行っていきます。	○ 目標に比べて劣っている	● 十分達成している				
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ 概ね達成している	● 十分達成している				○ 目標に比べて劣っている	● 十分達成している				
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ かなり劣っている	● 十分達成している				○ 概ね達成している	● 十分達成している				
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ かなり劣っている	● 十分達成している				○ かなり劣っている	● 十分達成している				
CHECK	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	○ 高い	● 適当			母子手帳交付時に制度のお知らせを配布するとともに、出生届受理の際に申請の受付を行っています。また、定期的に住民基本台帳を照会し申請漏れがないよう確認し事務効率性を図っています。	○ 高い	● 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	● できない				○ 高い	● 適当				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	● ない				○ できる	● できない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	● ない				○ ある	● ない				
ACTION	評価点	一次評価					二次評価						
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
	今後の方向性	○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等			
		○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止				
	当面の課題	令和2年度からは、改正された支給要件・金額にて運用しています。一時的な支援だけに終わらないように、子育て支援・若年層の定住促進について、関係各課との連携を継続していきます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	関係課と連携し、広報・周知につとめ、本制度についての理解を広めることで、本制度の目的である子育て支援と若年層の定住を推進します。					本制度は、令和2年度から支給金額と要件緩和の改正を行いました。前年度より周知を行ったことから、市民の理解も得られ、混乱なく運用できています。今後も、出産を祝福するとともに、若年層や子育て世代の移住・定住に効果的な施策の検討と推進を行います。						
委員会指摘事項													